

平成24年度 財政状況資料集

総括表（市町村）

都道府県名	新潟県		市町村類型	II-1	指定団体等の指定状況		区分		平成24年度(千円)	平成23年度(千円)	区分		平成24年度(千円・%)	平成23年度(千円・%)		
					財政健全化等	×	歳入総額	36,298,520	35,365,427	実質収支比率	4.6	3.8				
市町村名	南魚沼市		地方交付税種地	1-2	財源超過	×	歳出総額	35,276,181	34,358,959	経常収支比率	90.8	90.7				
					首都	×	歳入歳出差引	1,022,339	1,006,468	(※1)	(97.3)	(97.2)				
					近畿	×	翌年度に繰越すべき財源	135,344	265,528	標準財政規模	19,273,943	19,401,017				
					中部	×	実質収支	886,995	740,940	財政力指数	0.44	0.45				
人口	22年国調(人)	61,624	産業構造(※5)		中部	×	単年度収支	146,055	343,434	公債費負担比率	16.5	16.8				
	17年国調(人)	63,329			過疎	×	積立金	5,608	8,087	健全化判断比率						
	増減率(%)	-2.7			山振	○	繰上償還金	-	-	実質赤字比率	-	-				
住民基本台帳人口(※7)	25.03.31(人)	60,566	第1次	22年国調	17年国調	低開発	○	積立金取崩し額	170,000	400,000	連結実質赤字比率	-	-			
	うち日本人(人)	59,769		3,668	4,060	指数表選定	○	実質単年度収支	-18,337	-48,479	実質公債費比率	17.5	19.1			
	24.03.31(人)	60,316	第2次	12.0	12.6			基準財政収入額	6,446,082	6,536,301	資金不足比率(※4)					
	うち日本人(人)	60,316		9,081	10,221			基準財政需要額	14,646,053	14,851,227						
	増減率(%)	0.4	第3次	29.6	31.6			標準税収収入額等	8,292,391	8,387,132						
	うち日本人(%)	-0.9		17,886	18,045			経常経費充当一般財源等	17,862,675	17,756,305						
	面積(km ²)	584.82	58.4	55.8			歳入一般財源等	22,687,788	22,793,714							
人口密度(人/km ²)	105															
世帯数(世帯)	19,482															
職員の状況																
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高	40,927,578	38,111,400					
	市区町村長	1	8,433		一般職員	661	2,034,558	3,078	うち公的資金	31,078,076	27,722,332					
	副市区町村長	1	6,447		うち消防職員	105	306,075	2,915	債務負担行為額(支出予定額)	744,684	969,154					
	教育長	1	5,858		うち技能労務職員	83	250,494	3,018	収益事業収入	-	-					
	議会議長	1	3,992		教育公務員	-	-	-	土地開発基金現在高	-	-					
	議会副議長	1	3,493		臨時職員	-	-	-	積立金現在高	2,242,681	2,407,073					
	議会議員	24	2,994		合計	661	2,034,558	3,078	減債基金	17,339	217,339					
					ラスバイレス指数(※6)		100.1	(92.5)		その他特定目的基金	4,376,608	2,891,520				
	一般会計等の一覧															
	項番	会計名	事業会計の一覧			公営企業(法適)の一覧			公営企業(法非適)の一覧			関係する一部事務組合等一覧		地方公社・第三セクター等一覧		
(1)	一般会計	(3)	国民健康保険特別会計	(6)	水道事業会計	(8)	下水道特別会計	(9)	新潟県市町村総合事務組合【一般会計】	(19)	財団法人しゃくなげ湖畔開発公社	(※3)				
(2)	城内診療所特別会計	(4)	介護保険特別会計	(7)	病院事業会計			(10)	新潟県市町村総合事務組合【職員退職手当支給事業特別会計】	(20)	財団法人南魚沼市文化スポーツ振興公社					
		(5)	後期高齢者医療特別会計					(11)	新潟県市町村総合事務組合【消防団員等公務災害補償事業特別会計】	(21)	六日町つづくり株式会社	○				
								(12)	新潟県市町村総合事務組合【消防賞しゅつ金支給事業特別会計】	(22)	株式会社アグリコア	○				
								(13)	新潟県市町村総合事務組合【非常勤職員公務災害補償等特別会計】	(23)	南魚沼地域土地開発公社	○				
								(14)	新潟県市町村総合事務組合【交通災害共済事業特別会計】							
								(15)	新潟県後期高齢者医療広域連合【一般会計】							
								(16)	新潟県後期高齢者医療広域連合【後期高齢者医療特別会計】							
								(17)	魚沼地区障害福祉組合【一般会計】							
								(18)	魚沼地域特別養護老人ホーム組合【一般会計】							

(注釈) ※1: 経常収支比率の()内の数値は、「減収補償(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。
 ※2: 各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。
 ※3: 地方公共団体が損失補償等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。
 ※4: 資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。
 ※5: 産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、平成22年国調は分類不能の産業を除き、平成17年国調は分類不能の産業を含んでいる。
 ※6: ラスバイレス指数の()内の数値は、国家公務員の時限的な(2年間)給与改定特例法による措置が無いとした場合の値である。
 ※7: 住民基本台帳法の改正により、平成25年3月31日現在の住民基本台帳登録人口については、外国人住民を含む。

(1) 普通会計の状況(市町村)

歳入の状況(単位:千円・%)				地方税の状況(単位:千円・%)				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分
地方税	7,633,911	21.0	7,564,018	41.2	普通税	7,526,795	98.6	54,928
地方譲与税	335,630	0.9	335,630	1.8	法定普通税	7,526,795	98.6	54,928
利子割交付金	15,797	0.0	15,797	0.1	市町村民税	2,868,113	37.6	54,928
配当割交付金	9,427	0.0	9,427	0.1	個人均等割	95,011	1.2	-
株式等譲渡所得割交付金	2,307	0.0	2,307	0.0	所得割	2,060,353	27.0	-
地方消費税交付金	594,850	1.6	594,850	3.2	法人均等割	235,096	3.1	-
ゴルフ場利用税交付金	-	-	-	-	法人税割	477,653	6.3	54,928
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	固定資産税	4,089,794	53.6	-
自動車取得税交付金	92,075	0.3	92,075	0.5	うち純固定資産税	4,067,705	53.3	-
軽油引取税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	156,631	2.1	-
地方特例交付金	21,262	0.1	21,262	0.1	市町村たばこ税	412,257	5.4	-
地方交付税	10,940,123	30.1	9,664,557	52.7	釧産税	-	-	-
普通交付税	9,664,557	26.6	9,664,557	52.7	特別土地保有税	-	-	-
特別交付税	1,275,566	3.5	-	-	法定外普通税	-	-	-
震災復興特別交付税(一般財源計)	19,645,382	54.1	18,299,923	99.7	目的税	107,116	1.4	-
交通安全対策特別交付金	8,532	0.0	8,532	0.0	法定目的税	107,116	1.4	-
分担金・負担金	696,553	1.9	-	-	入湯税	37,223	0.5	-
使用料	920,205	2.5	-	-	事業所税	-	-	-
手数料	329,545	0.9	-	-	都市計画税	69,893	0.9	-
国庫支出金	2,943,017	8.1	-	-	水利地益税等	-	-	-
国有提供交付金(特別区財調交付金)	-	-	-	-	法定外目的税	-	-	-
都道府県支出金	2,724,353	7.5	-	-	旧法による税	-	-	-
財産収入	245,155	0.7	41,379	0.2	合計	7,633,911	100.0	54,928
寄附金	4,724	0.0	-	-				
繰入金	601,917	1.7	-	-				
繰越金	1,006,468	2.8	-	-				
諸収入	968,169	2.7	650	0.0				
地方債	6,204,500	17.1	-	-				
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-				
うち臨時財政対策債	1,316,900	3.6	-	-				
歳入合計	36,298,520	100.0	18,350,484	100.0				

区分		平成24年度	平成23年度
徴収率(%)	現計	97.7	83.9
	市町村民税	98.7	93.8
	純固定資産税	96.7	77.1

公営事業等への繰出		国民健康保険事業会計の状況	
合計	4,732,300	実質収支	217,990
下水道	1,751,906	再差引収支	170,904
病院	560,794	加入世帯数(世帯)	8,970
上水道	526,574	被保険者数(人)	16,881
介護サービス	57,649	被保険者	102
国民健康保険	340,749	1人当り	85
その他	1,494,628	保険税(料)収入額	217
		国庫支出金	85
		保険給付費	217

歳入の状況(単位:千円・%)				
目的別歳入の状況(単位:千円・%)				
区分	決算額(A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等
議会費	221,024	0.6	-	221,024
総務費	4,332,412	12.3	71,120	2,362,692
民生費	8,287,304	23.5	359,988	4,877,129
衛生費	4,020,688	11.4	615,967	2,755,305
労働費	226,226	0.6	110,973	28,726
農林水産業費	1,078,833	3.1	131,042	818,491
商工費	520,135	1.5	40,065	294,664
土木費	4,571,297	13.0	1,597,825	2,903,347
消防費	1,306,139	3.7	181,994	804,850
教育費	3,991,395	11.3	1,526,619	2,179,765
災害復旧費	2,714,116	7.7	-	607,423
公債費	3,929,858	11.1	-	3,735,279
諸支出費	76,754	0.2	76,754	76,754
前年度繰上充用金	-	-	-	-
歳出合計	35,276,181	100.0	4,712,347	21,665,449

性質別歳入の状況(単位:千円・%)					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	13,306,924	37.7	9,958,271	9,710,122	49.4
人件費	5,361,350	15.2	4,485,482	4,448,134	22.6
うち職員給	3,698,754	10.5	3,051,727	-	-
扶助費	4,015,716	11.4	1,737,510	1,526,709	7.8
公債費	3,929,858	11.1	3,735,279	3,735,279	19.0
元利償還金	3,928,927	11.1	3,734,348	3,734,348	19.0
内 うち元金	3,388,322	9.6	3,193,743	3,193,743	16.2
訳 うち利子	540,605	1.5	540,605	540,605	2.7
一時借入金利子	931	0.0	931	931	0.0
その他の経費	14,542,794	41.2	10,113,322	8,152,553	41.5
物件費	4,143,683	11.7	2,414,564	2,090,839	10.6
維持補修費	1,643,725	4.7	1,315,399	1,185,114	6.0
補助費等	3,265,300	9.3	2,969,581	1,540,198	7.8
うち一部事務組合負担金	76,976	0.2	76,670	76,670	0.4
繰出金	3,644,932	10.3	3,400,033	3,336,402	17.0
積立金	1,625,209	4.6	10,100	-	-
投資・出資金・貸付金	219,945	0.6	3,645	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	7,426,463	21.1	1,593,856	-	-
うち人件費	217,432	0.6	129,997	-	-
普通建設事業費	4,712,347	13.4	986,433	-	-
うち補助	2,065,798	5.9	174,779	-	-
うち単独	2,622,504	7.4	809,899	-	-
災害復旧事業費	2,714,116	7.7	607,423	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	35,276,181	100.0	21,665,449	-	-

(注釈)
 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、
 単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

(2)各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

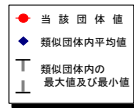
平成24年度 新潟県南魚沼市

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1 一般会計	36,017	35,016	1,001	865	622	40,928	
2 城内診療所特別会計	446	425	22	22	136	-	
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
41							
42							
43							
44							
45							
46							
47							
48							
49							
50							
51							
52							
53							
54							
55							
56							
57							
58							
59							
60							
61							
62							
63							
64							
65							
66							
67							
68							
69							
70							
71							
72							
73							
74							
75							
76							
77							
78							
79							
80							
81							
82							
83							
84							
85							
86							
87							
88							
89							
90							
91							
92							
93							
94							
95							
96							
97							
98							
99							
100							
101							
102							
103							
104							
105							
106							
107							
108							
109							
110							
111							
112							
113							
114							
115							
116							
117							
118							
119							
120							
121							
122							
123							
124							
125							
126							
127							
128							
129							
130							
131							
132							
133							
134							
135							
136							
137							
138							
139							
140							
141							
142							
143							
144							
145							
146							
147							
148							
149							
150							
151							
152							
153							
154							
155							
156							
157							
158							
159							
160							
161							
162							
163							
164							
165							
166							
167							
168							
169							
170							
171							
172							
173							
174							
175							
176							
177							
178							
179							
180							
181							
182							
183							
184							
185							
186							
187							
188							
189							
190							
191							
192							
193							
194							
195							
196							
197							
198							
199							
200							
201							
202							
203							
204							
205							
206							
207							
208							
209							
210							
211							
212							
213							
214							
215							
216							
217							
218							
219							
220							
221							
222							
223							
224							
225							
226							
227							
228							
229							
230							
231							
232							
233							
234							
235							
236							
237							
238							
239							
240							
241							
242							
243							
244							
245							
246							
247							
248							
249							
250							
251							
252							
253							
254							
255							
256							
257							
258							
259							
260							
261							
262							
263							
264							
265							
266							
267							
268							
269							
270							
271							
272							
273							
274							
275							
276							
277							
278							
279							
280							
281							
282							
283							
284							
285							
286							
287							
288							
289							
290							
291							
292							
293							
294							
295							
296							
297				</			

(3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

人口	60,566人	(H25.3.31現在)	実収	赤字	比率	-	%
うち日本人	59,769人	(H25.3.31現在)	通結	実収	赤字	比率	-
面積	584.82	km ²	将来	実収	赤字	比率	17.5
入出	36,298,520	千円	将来	実収	赤字	比率	159.9
実収	35,276,181	千円	市	町	村	類型	H20 II-1 H21 II-1 H22 II-1
支取	886,996	千円	(年	度	毎	H23 II-1 H24 II-1
標準財政規模	19,273,943	千円					
地方債現在高	40,927,578	千円					

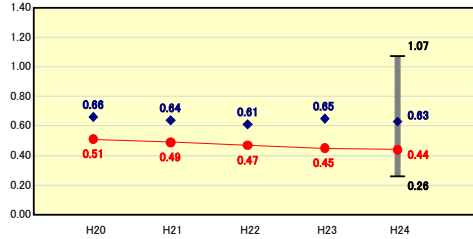


※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※平成25年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実収公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。
 ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。
 ※類似団体内平均値は、充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体を含めた加重平均であるため、最小値を下回ることがある。
 ※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。
 ※住民基本台帳法の改正により、平成25年3月31日現在の住民基本台帳登録人口については、外国人住民を含む。

財政力

財政力指数 [0.44]

類似団体内順位 153/197 全国平均 0.49 新潟県平均 0.51

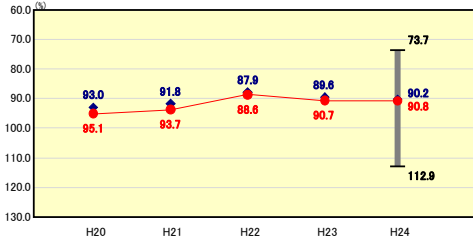


財政力指数の分析欄
 過去5年間の推移では、年々減少してきている。その原因としては、景気低迷による市民税の伸び悩みや、土地評価額の下落に伴う固定資産税の減収等により、基準財政収入額が減少し続けていること、また、新市建設計画に沿って合併に伴い必要となっている事業を、合併特例債を活用して優先的に実施していることから、合併特例債の償還に伴い基準財政需要額が増加し続けていることがあげられる。引き続き職員数の削減、事業内容の精査等による内部経費の削減に努めるとともに、市税徴収強化の取組等により、財政基盤の強化に努めていく。

財政構造の弾力性

経常収支比率 [90.8%]

類似団体内順位 113/197 全国平均 90.7 新潟県平均 88.8

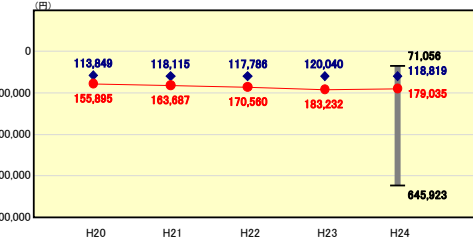


経常収支比率の分析欄
 城内診療所会計が病院会計へ普通会計へ移行したことにより、平成23年度から経常的経費が増えているが、概ね類似団体平均と同レベルで推移しており、全国的には平均的な数値となっている。定員管理適正化計画のもと、今後も職員数の削減を進めていく予定ではあるが、扶助費や物件費が増加傾向にあることや、合併に伴い必要となっている事業の実施に伴い、公債費も引き続き高い比率を占める見込みであり、これ以上の改善は容易ではない状況にある。今後も経常経費の圧縮に努め、さらなる改善を目指していく。

人件費・物件費等の状況

人口1人当たり人件費・物件費等決算額 [179,035円]

類似団体内順位 189/197 全国平均 116,454 新潟県平均 142,734

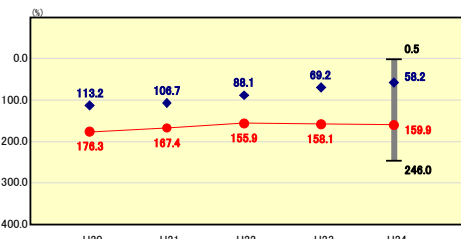


人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄
 類似団体平均値及び新潟県平均と比べ高い水準となっている理由は、市外の区域も担当している廃棄物処理業務や消防業務等があることに加え、20の公立・公設民営保育園を運営していることなどにより、人件費・物件費・維持補修費が多くなっていることにある。また、地域特有の事情として、日本有数の豪雪地帯であることから、冬期間の道路交通を確保するため、機械除雪で1,070百万円、消雪パイプの電気料等で150百万円と、雪対応に要する経費が必要となっていることがある。雪対策については、降雪量により増減が生ずるが、少しでも削減できるように随時見直しを進めていく。

将来負担の状況

将来負担比率 [159.9%]

類似団体内順位 186/197 全国平均 60.0 新潟県平均 108.1

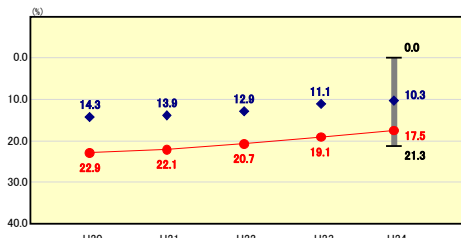


将来負担比率の分析欄
 団塊世代の大量退職が続いており、新採用職員の抑制により、退職手当負担見込額の抑制は図られている。しかし、合併に伴い必要となった事業の実施が本格化を迎えており、特に市民総意の形成に多くの調整が必要であった大型事業が続いていたり、普通交付税の臨時財政対策債への振り替えが引き続き大きな額で推移していることから、起債残高が増加している。さらに、事業の財源を確保するため、基金の取り崩しも想定されることから、引き続き事業内容を検討し、将来負担比率の増加を抑えられるよう努めていく。

公債費負担の状況

実質公債費比率 [17.5%]

類似団体内順位 189/197 全国平均 9.2 新潟県平均 13.2

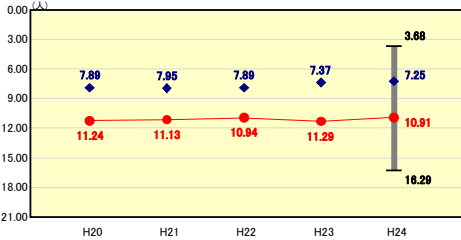


実質公債費比率の分析欄
 水道事業会計における、浄水施設、送水施設の建設及びダム建設への負担金、下水道事業会計における面整備の完了を目指した事業の推進、一般会計における学校改革等の大規模事業の実施等により、市債発行額は大きく膨らんでいった。平成18年度には実質公債費比率はピークとなる24.6%まで上昇したが、補償金免除繰上償還や起債の抑制、優良債へのシフトなどにより、改善してきている。しかし、合併に伴い必要となった地域間格差是正事業や、施設の統廃合を伴うため市民の合意形成に時間を要した事業等が続いており、起債残高の大きな減少は見込めない状況にある。引き続き事業内容を検討し、優良債を活用することで、実質公債費比率を18%以下にできるよう努めていく。

定員管理の状況

人口千人当たり職員数 [10.91人]

類似団体内順位 185/197 全国平均 7.00 新潟県平均 8.56

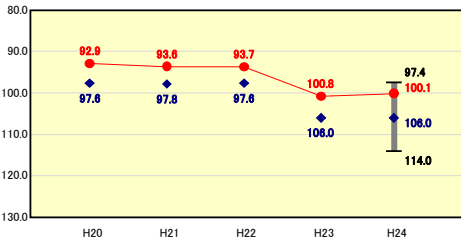


人口千人当たり職員数の分析欄
 定員管理適正化計画に基づき、退職者不補充等により職員数を減らしてきた。しかし、直営保育施設の割合が高いことや、合併の際に広域事務組合等を吸収し、隣接他団体の廃棄物処理・消防救急業務等を委託していることから、類似団体平均や県平均に比べ大きく開きがある状況が続いている。今後数年間は大量退職の年が続くが、住民サービスを低下させることなく、民間委託が可能な事業は民間委託をすすめており、人口減少を見越して施設の統廃合を進めるなどの事務事業の見直しや事務の効率化等を進めることで、市の事務事業にふさわしい適正規模に近づけていくよう努める。

給与水準 (国との比較)

ラスパイルズ指数 [100.1]

類似団体内順位 8/197 全国市平均 106.6 全国町村平均 103.2



ラスパイルズ指数の分析欄
 人口あたり職員数が多いことから、総額人件費を抑制するため、昇格・昇給基準や各種手当の見直しに加え、平成18～20年度の3年間給与の凍結措置を行うなど、人件費の抑制に努めてきた。また、大量退職の時期を迎え、年齢構成の変異による指数の低下も進んでおり、類似団体や全国平均からみてもラスパイルズ指数は低い水準となっている。平成23、24年度は国家公務員の時限的な(2年間)給与削減措置が実施されており、指数が急激に上昇しているが、国家公務員の給与削減措置がなかったとした場合は、平成23年度が93.2、24年度が92.5となっている。さらに、国家公務員の給与削減措置に合わせた国の給与削減要請を受け、市でも給与削減を実施しており、平成25年7月1日時点でのラスパイルズ指数は99.1と、国家公務員の給与削減措置後と比較しても100を切る状況となっている。

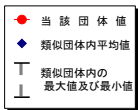
(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成24年度

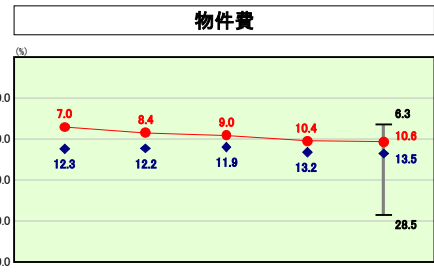
新潟県南魚沼市

経常収支比率の分析

人口	60,566人 (H25.3.31現在)	実収赤字比率	-%
うち日本人	59,769人 (H25.3.31現在)	実収公債比率	17.5%
面積	584.82km ²	実収公債負担比率	159.9%
歳入総額	36,298,520千円	市町村類型	H20 II-1 H21 II-1 H22 II-1
歳出総額	35,276,181千円	(年度毎)	H23 II-1 H24 II-1
実収総額	866,995千円		
標準財政規模	19,273,943千円		
地方債現在高	40,927,578千円		

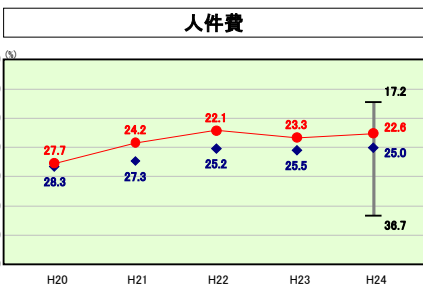


※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 住民基本台帳法の改正により、平成25年3月31日現在の住民基本台帳記載人口については、外国人住民を含む。



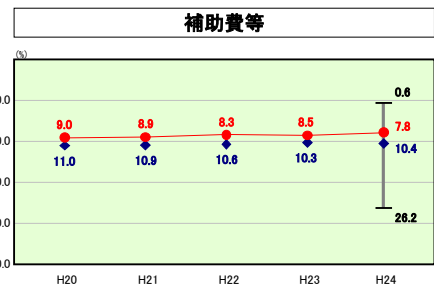
物件費の分析欄

物件費総額としては、前年比96.8%で大きく変化していない。経常収支比率は上昇傾向にあるが、保育園の公設民営化等、施設の直営から指定管理制度等への移行によるものである。委託等が可能な事業については、直営からの転換を基本方針としていることから、今後も物件費の占める割合は上昇することが考えられる。ただし、その場合においても、人件費等との相殺となることから、全体の経常収支としては大きく変わらない見込みである。



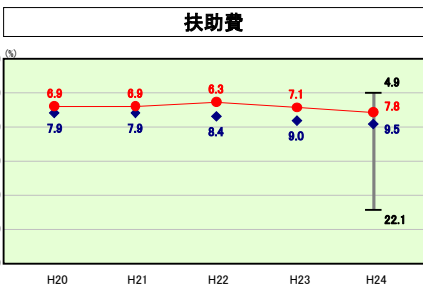
人件費の分析欄

二度にわたる合併と広域水道企業団及び広域連合の継承により、職員数は類似団体平均値より多くなっているが、定員管理適正化計画の実行及び昇給・昇格基準や各種手当の見直し、給与削減措置などにより人件費の抑制に努めてきた。このため人件費率は、類似団体や全国の平均と比べても改善されてきている。今後も職員数の適正化と、行政改革の取組みを通じてさらなる改善に努める。



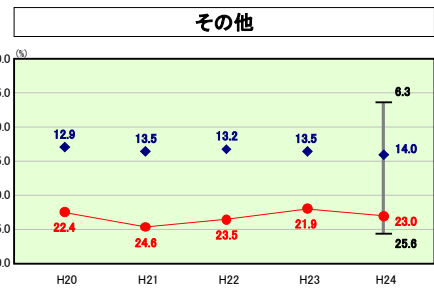
補助費等の分析欄

比率では類似団体平均や県平均をやや下回る状況で推移している。平成24年度については、公営企業会計(水道事業・病院事業)への補助金が経常的な補助費等のうち53.5%を占めている。水道事業への補助金は減少傾向にあるが、新市立病院の開院に伴い、今後は病院事業の経営状況が変化することから、引き続き明確な基準に従って適正な支出を行っていくことが重要となる。



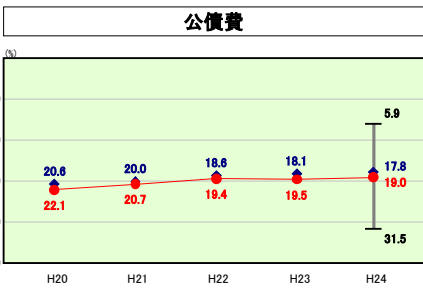
扶助費の分析欄

介護給付費の増、保育園保育委託料の増など、扶助費の総額が年々増加しているが、平均的な数値よりは、まだまだ低い状況にある。しかし、今後も介護給付費は伸びていくことが予想されており、保育ニーズの多様化への対応など、扶助費の増加要素は大きいことから、引き続き事業内容を精査して、取り組んでいく必要がある。



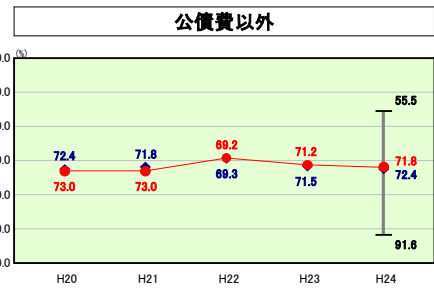
その他の分析欄

その他の比率については、維持補修費が6.0%、繰出金が17.0%となっており、類似団体や県平均と比べ高い水準となっている。内訳としては、維持補修費の71.6%を占める除雪経費と、繰出金の50.8%を占める下水道特別会計への繰出金が比率を押し上げている要因となっている。下水道事業は整備終了の目標を平成27年度として推進しており、今後しばらくは現状が継続する見込みである。また、介護保険特別会計への繰出金も年々増加しており、引き続き事業内容を精査し適正な水準としていくことが重要である。



公債費の分析欄

平成19年度以降の公的資金補償金免除繰上償還により、大きく利子負担を軽減することができた。しかし、市町村合併に伴い、一体感の醸成や地域間格差の是正、施設の統廃合などに伴う投資的事業が必要となっており、特に合併特別償還を活用しての事業が集中して行われてきたため、しばらくは公債費の大きな減少を見込めない状況にある。引き続き起債発行事業を厳選し、起債発行総額を抑制して公債費の適正化に努める。



公債費以外の分析欄

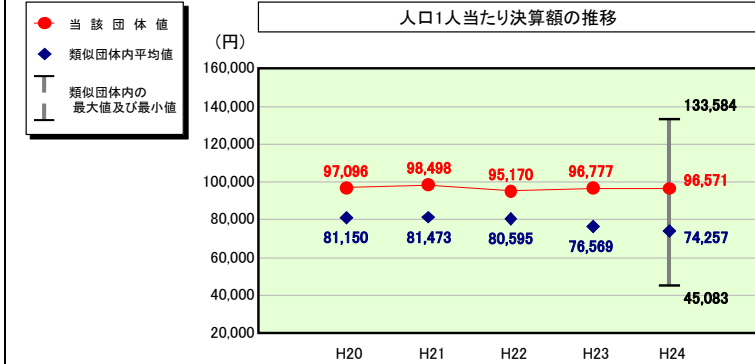
公債費以外の経常収支比率については、類似団体平均や全国平均とほぼ同程度で推移している。合併以降、財政健全化計画に基づき、各種の見直しを進めた結果として経常収支比率の削減を進めてきている。公債費については、今後も大きな減少を見込めない状況にあり、引き続き公債費以外の費用について、不断の見直しを進めていく必要がある。

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成24年度

新潟県南魚沼市

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



人件費及び人件費に準ずる費用

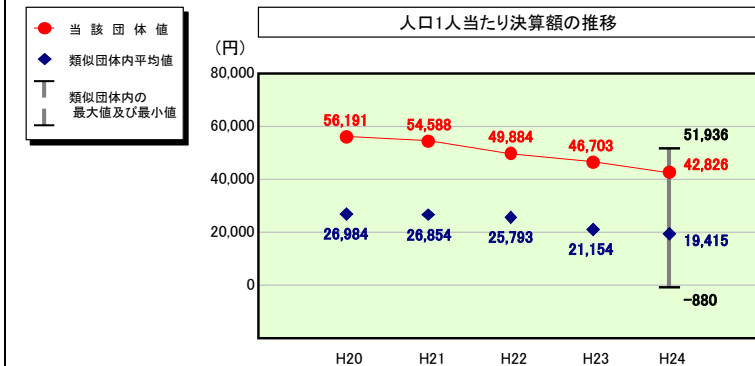
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
人件費	5,361,350	88,521	66,779	32.6
賃金 (物件費)	428,126	7,069	4,457	58.6
一部事務組合負担金 (補助費等)	60,809	1,004	5,662	▲ 82.3
公営企業 (法適) 等に対する繰出し (補助費等)	72,260	1,193	893	33.6
公営企業 (法適) 等に対する繰出し (投資及び出資金・貸付金)	-	-	4	-
公営企業 (法非適) 等に対する繰出し (繰出金)	231,715	3,826	2,920	31.0
事業費支弁に係る職員の人件費 (投資的経費)	217,432	3,590	1,451	147.4
▲退職金	▲ 522,783	▲ 8,632	▲ 7,909	9.1
合計	5,848,909	96,571	74,257	30.0

参考

	当該団体	類似団体平均	対比 (差引)
人口1,000人当たり職員数 (人)	10.91	7.25	3.66
ラスパイレス指数	100.1	106.0	▲ 5.9

(注) 住民基本台帳法の改正により、平成25年3月31日現在の住民基本台帳登録人口については、外国人住民を含む。(公債費及び普通建設事業費についても同様)

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

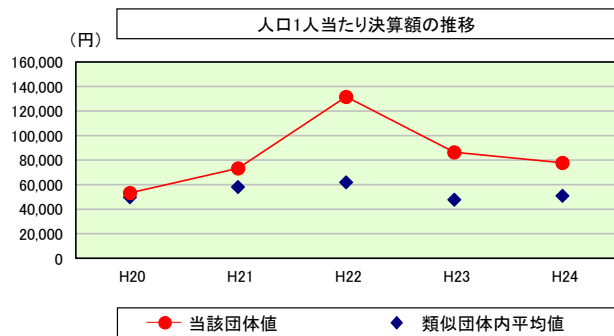


公債費及び公債費に準ずる費用 (実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	3,928,927	64,870	43,897	47.8
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	16	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	37	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	2,341,543	38,661	11,989	222.5
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	57,604	951	2,516	▲ 62.2
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	45,600	753	1,568	▲ 52.0
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	931	15	8	87.5
▲特定財源の額	▲ 263,501	▲ 4,351	▲ 5,564	▲ 21.8
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 3,517,280	▲ 58,074	▲ 35,053	65.7
合計	2,593,824	42,826	19,415	120.6

※平成25年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

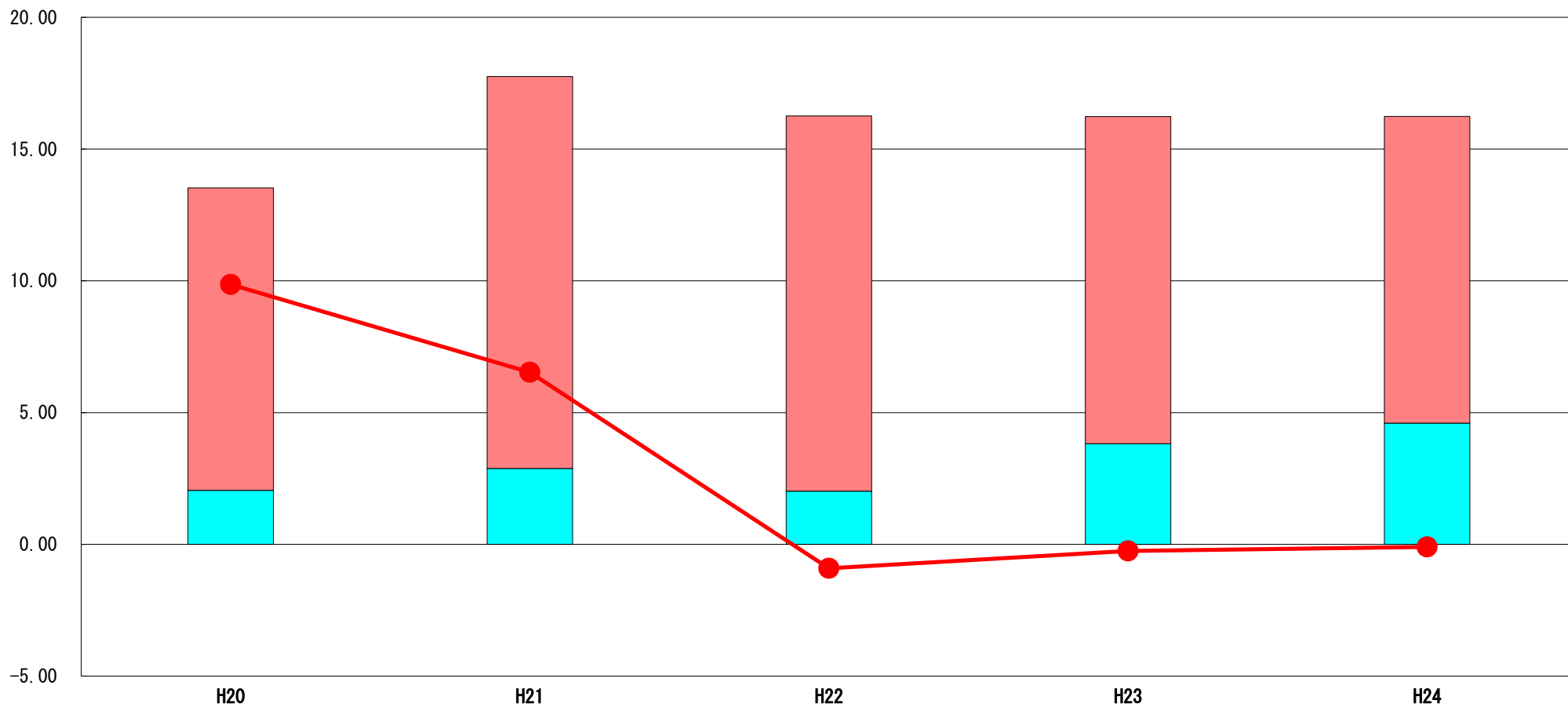
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体 (円)	増減率 (%) (A)	類似団体平均 (円)	増減率 (%) (B)	(A)-(B)
H20	3,283,416	53,242	▲ 5.6	49,774	2.8	▲ 8.4
うち単独分	2,444,287	39,635	16.8	26,739	▲ 0.7	▲ 17.5
H21	4,490,798	73,393	37.8	58,009	16.5	21.3
うち単独分	2,806,242	45,863	15.7	32,190	20.4	▲ 4.7
H22	8,017,125	131,677	79.4	61,882	6.7	72.7
うち単独分	3,393,150	55,730	21.5	32,175	0.0	21.5
H23	5,210,699	86,390	▲ 34.4	47,569	▲ 23.1	▲ 11.3
うち単独分	3,095,574	51,323	▲ 7.9	26,255	▲ 18.4	10.5
H24	4,712,347	77,805	▲ 9.9	50,880	7.0	▲ 16.9
うち単独分	2,622,504	43,300	▲ 15.6	26,879	2.4	▲ 18.0
過去5年間平均	5,142,877	84,501	13.5	53,623	2.0	11.5
うち単独分	2,872,351	47,170	6.1	28,848	0.7	5.4

(5) 実質収支比率等に係る経年分析 (市町村)




平成24年度

新潟県南魚沼市

標準財政規模比 (%)



標準財政規模比 (%)

区分	年度	H20	H21	H22	H23	H24
 財政調整基金残高		11.48	14.87	14.24	12.41	11.64
 実質収支額		2.05	2.88	2.02	3.82	4.60
 実質単年度収支		9.86	6.53	▲ 0.91	▲ 0.25	▲ 0.10

分析欄

平成23年度に引き続き、平成23年7月新潟・福島豪雨の災害復旧事業等への支出が多かったことから、1億7千万円を取崩すこととなり、財政調整基金残高は減少している。引き続き財政調整基金を一定額確保できるよう努めていく必要がある。

豪雨災害の復旧事業が引き続き数多く行われていることから、工事の進捗状況によって事業費が変動する可能性が高く、予算に余裕をみていたことが影響し、実質収支は大きくなっている。

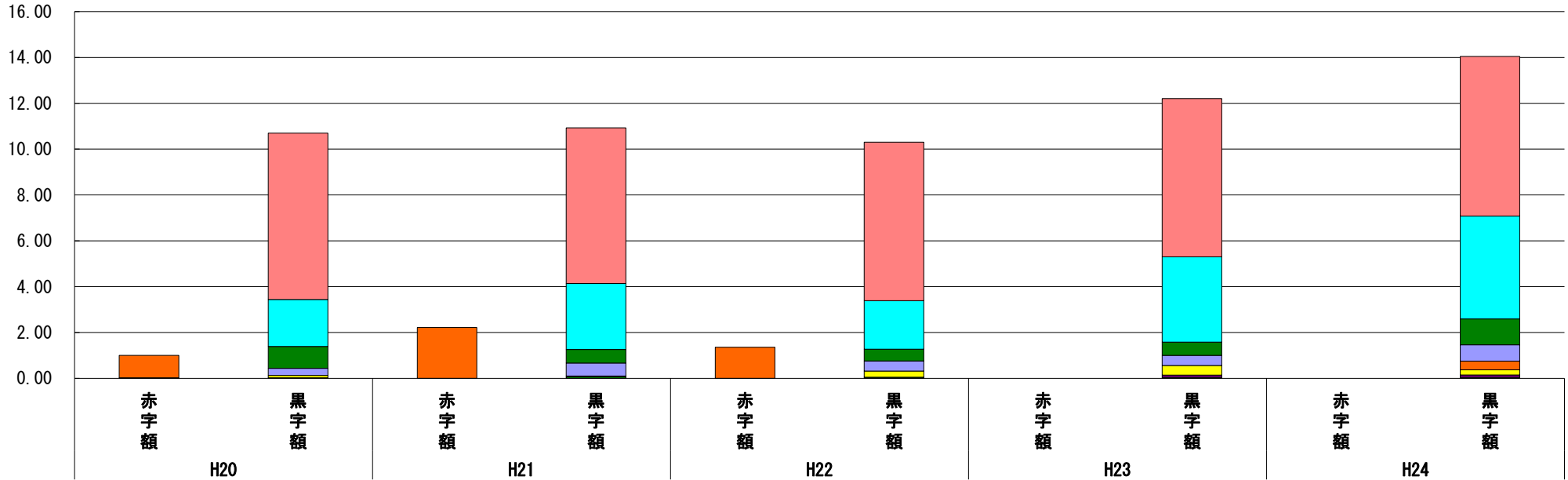
平成20、21年度は補償金免除線外償還を行っており、実質単年度収支はプラスだったが、平成22年度以降は財政調整基金の取崩し等があり、平成24年度では実質単年度収支は▲18,337千円となった。

(6) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

平成24年度

新潟県南魚沼市

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

会計	年度	H20	H21	H22	H23	H24
水道事業会計		7.26	6.79	6.91	6.90	6.96
一般会計		2.05	2.88	2.12	3.72	4.49
国民健康保険特別会計		0.95	0.59	0.51	0.58	1.13
介護保険特別会計		0.31	0.57	0.44	0.44	0.71
病院事業会計		▲ 0.98	▲ 2.22	▲ 1.36	0.00	0.38
下水道特別会計		0.11	0.04	0.27	0.42	0.22
城内診療所特別会計		-	-	-	0.10	0.11
後期高齢者医療特別会計		0.02	0.05	0.04	0.04	0.04
その他会計（赤字）		▲ 0.02	-	-	-	-
その他会計（黒字）		0.00	0.01	0.01	-	-

分析欄

法適用の病院事業会計に対し、平成23年度から資金不足を解消するために繰出しを行い、赤字を解消している。一般会計、国民健康保険特別会計で黒字比率が増加しているが、これは最終的に見込んでいた歳出額が縮小したことによる一時的な黒字増であり、継続的なものではない。水道事業会計では、約13億円の剰余金を保持するものの、今後の施設更新計画による投資や繰入基準額の減による収入減などが見込まれており、徐々に剰余金は減少する見込みである。病院事業会計では新市立病院の建設に着手しており、魚沼基幹病院の開院と合わせた地域の医療再編を実行中であり、今後の事業経営に対して注視が必要である。

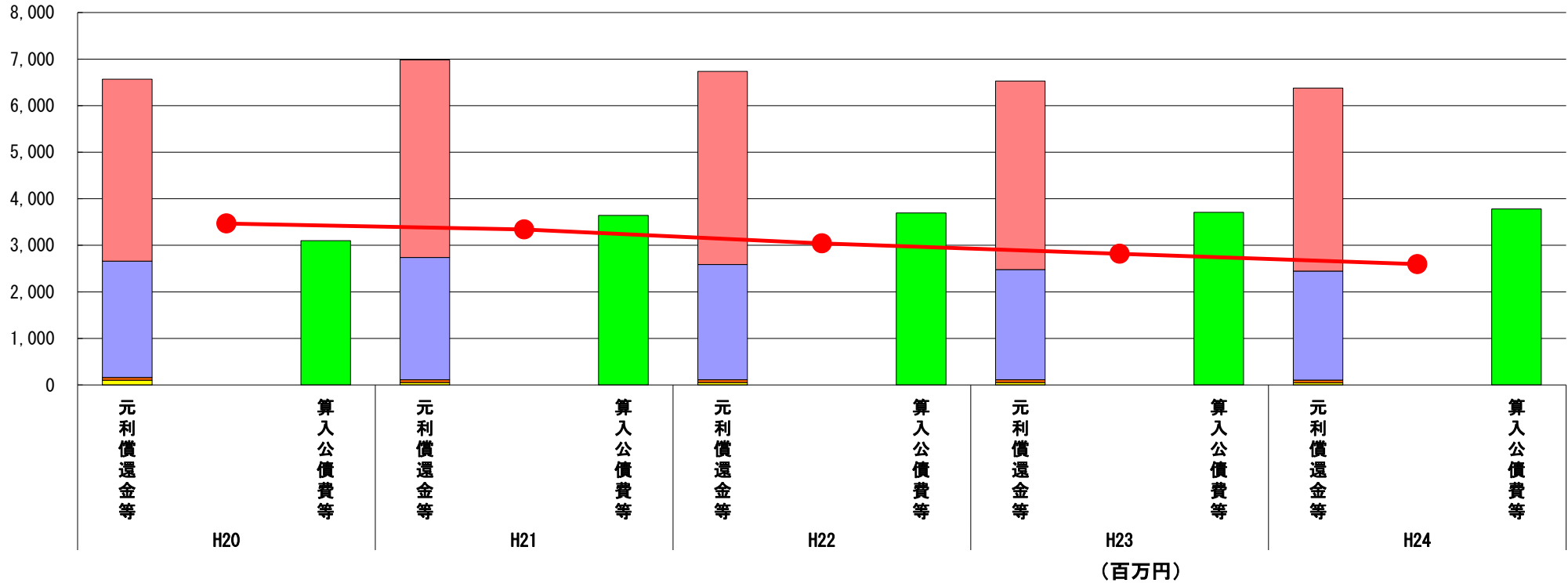
※平成25年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(7) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成24年度

新潟県南魚沼市

(百万円)



分子の構造		年度	H20	H21	H22	H23	H24
元利償還金等 (A)	元利償還金		3,910	4,243	4,147	4,049	3,929
	減債基金積立不足算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		2,497	2,628	2,477	2,368	2,342
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		60	59	59	58	58
	債務負担行為に基づく支出額		100	52	51	51	46
	一時借入金の利子		1	0	1	1	1
算入公債費等 (B)	算入公債費等		3,101	3,643	3,696	3,709	3,781
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		3,467	3,339	3,039	2,818	2,595

分析欄

平成21年度以降、元利償還金、公営企業債の元利償還金に対する繰入金ともに減少を続けてきた。また、算入公債費等は、合併特例債の償還が始まったことから、年々増加傾向にある。このため、実質公債費比率の分子は減少してきている。今後は合併特例債の償還額が増加してくることと、平成23年7月新潟・福島豪雨に伴う災害復旧事業債の償還が加わることから、元利償還金は増加する見込みであるが、いずれも算入公債費率が高い起債であることから、実質公債費比率の分子は、現在の推移から大きく変わることはない見込みである。

※平成20年度決算の元利償還金は特定財源の額を控除しており、満期一括償還地方債に係る年度割相当額は減債基金積立不足算定額を含んでいる。

※平成21年度決算以降の算入公債費等は特定財源の額を含んでいる。

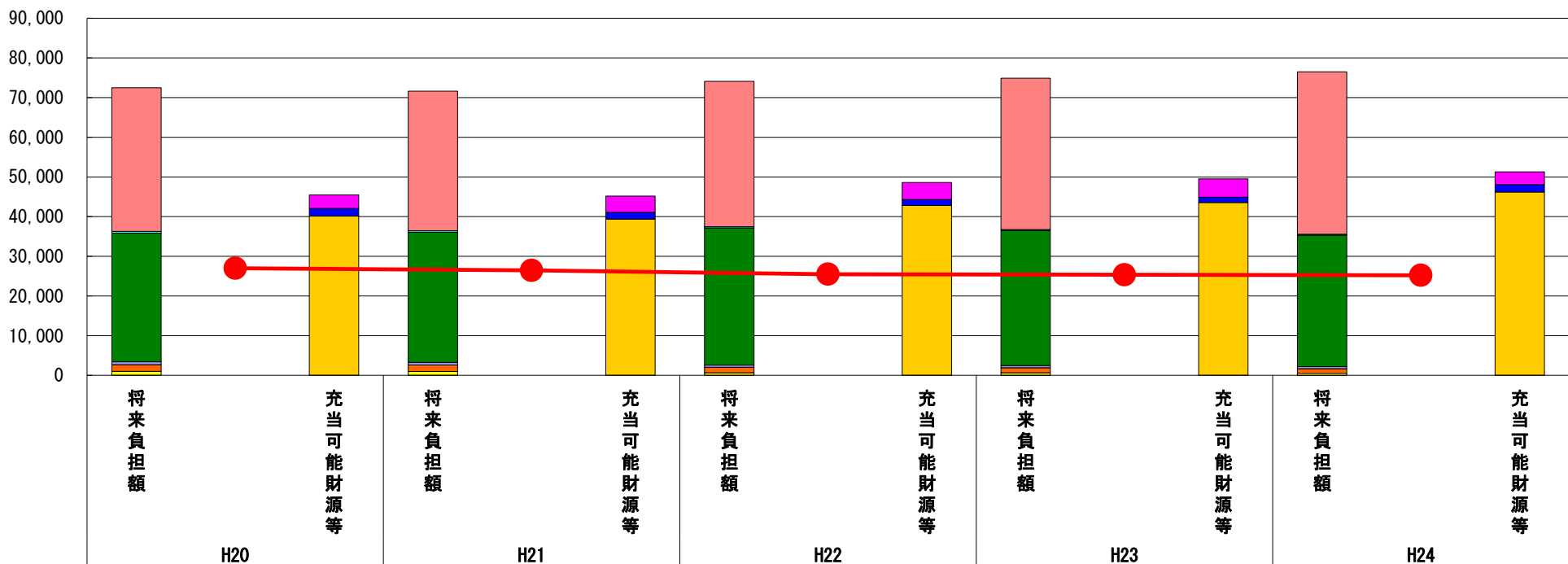
※平成25年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(8) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成24年度

新潟県南魚沼市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H20	H21	H22	H23	H24
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		36,212	35,178	36,642	38,129	40,928
	債務負担行為に基づく支出予定額		439	377	319	261	216
	公営企業債等繰入見込額		32,425	32,790	34,547	34,013	33,169
	組合等負担等見込額		695	641	586	542	492
	退職手当負担見込額		1,707	1,642	1,341	1,294	1,131
	設立法人等の負債額等負担見込額		1,000	979	668	634	549
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		3,419	4,108	4,310	4,638	3,239
	充当可能特定歳入		1,932	1,664	1,476	1,327	1,825
	基準財政需要額算入見込額		40,140	39,395	42,827	43,563	46,211
(A) - (B)	将来負担比率の分子		26,987	26,441	25,489	25,345	25,210

分析欄

将来負担額のうち、一般会計等に係る地方債の現在高は、合併に伴い必要となった新市建設計画に位置付けられた事業の推進及び、平成23年7月新潟・福島豪雨の災害復旧事業債の償還額増により、今後は増加していく見込みである。公営企業等繰入見込額については、水道事業への繰入額が徐々に減少しては行くものの、まだまだ負担が大きい状況が続き、整備の終盤を迎えている下水道事業も繰入額が大きくなることから、今後も横ばい状態が続くものと推計している。

充当可能財源等については、充当可能基金を積極的に積み増したいところではあるが、今後の財政事情からは、安易な増額は見込めず、むしろ基金の取崩しを何とか抑えていくことが重要な状況にある。ただし、基準財政需要額算入見込額については、臨時財政対策債、合併特例債及び災害復旧事業債など算入率の高い起債の償還額が増えてくることから、増加が見込まれており、結果として将来負担比率の分子については、今後も同様の傾向が続くものと考えている。

※平成25年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。